

平成31年度（2019年度）第14回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：令和2年（2020年）3月5日（木）11時00分～12時00分

場 所：熊本県立大学大会議室

出席：学長	半藤 英明
副学長	堤 裕昭
事務局長	斉藤 浩幸
文学部長	鈴木 元
環境共生学部長	松添 直隆
総合管理学部長	進藤 三雄
環境共生学研究科長	北原 昭男
地域連携政策センター長	丸山 泰
学術情報リサーチセンター長	村尾 治彦
学校法人九州ルーテル学院長	内村 公春
株式会社 熊本日日新聞社 調査役	松下 純一郎
熊本県公立高等学校長会長	和久田 恭生

事務局：手島事務局次長、三隅教務入試課長、平山教務入試課教務班長、  
佐藤教務入試課入試班長

1 開会

2 学長挨拶

3 議事

(1) 審議事項

① 令和2年度入学者選抜における合格者の決定について（一般入試・前期日程）

事務局教務入試課から、資料1-1に基づき「試験は2月25日に実施し、募集人員計211名に対して、志願者数は計777名、受験者数は計738名。計251名を合格と判定している。合格発表は、本日13時30分から行う。また、入学手続きの結果、募集人員に達しなかった場合、3月28日に追加合格の手続きを行う。結果については、4月の教育研究会議で報告する。」との説明があった。

続いて、各学部長から資料1-2に基づき説明があった。

文学部長から、「文学部日本語日本文学科は、30名の募集人員に対して、113名が志願、110名が受験した。得点の上位35名までを合格としたい。英語英米文学科は、28名の募集人員に対して、97名が志願、91名が受験した。得点の上位33名までを合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

環境共生学部長から、「環境資源学専攻は、15名の募集人員に対して、38名が志願、35名が受験した。得点の上位19名までを合格としたい。居住環境学専攻は、20名の募集人員に対し、65名が志願、62名が受験した。得点の上位22名までを合格としたい。食健康環境学専攻は、28名の募集人員に対して、83名が志願、80名が受験した。得点の上位31名までを合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

総合管理学部長から、「A方式は、30名の募集人員に対し、126名が志願、122名が受験した。得点の上位34名までを合格としたい。B方式は、60名の募集人員に対し、255名が志願、238名が受験した。得点の上位77名までを合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

② 令和3年度大学入学共通テストの記述式問題導入見送り等に伴う令和3年度熊本県立大学入学者選抜方法の一部変更について

事務局教務入試課から資料2に基づき、「高大接続改革に伴う令和3年度（2021年度）入学者選抜の見直しについては、予告公表を行っているが、英語民間試験の活用のための「大学入試英語成績提供システム」については、2020年度からの導入を見送り、延期することが文部科学大臣より示されたことから、改めて検討を行った。大学入学共通テストの国語と数学は、大学入試センターから提供されたマーク式の点数を利用する。英語英米文学科の学校推薦型選抜における出願条件としての英語の検定試験の追加については延期する。一般選抜前期日程試験における環境共生学部環境共生学科の第2志望制度は廃止する。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

4 その他

次回日程 平成31年度（2019年度）第15回 3月16日（月）  
午後2時30分～ 本部棟2階 大会議室

5 閉会